

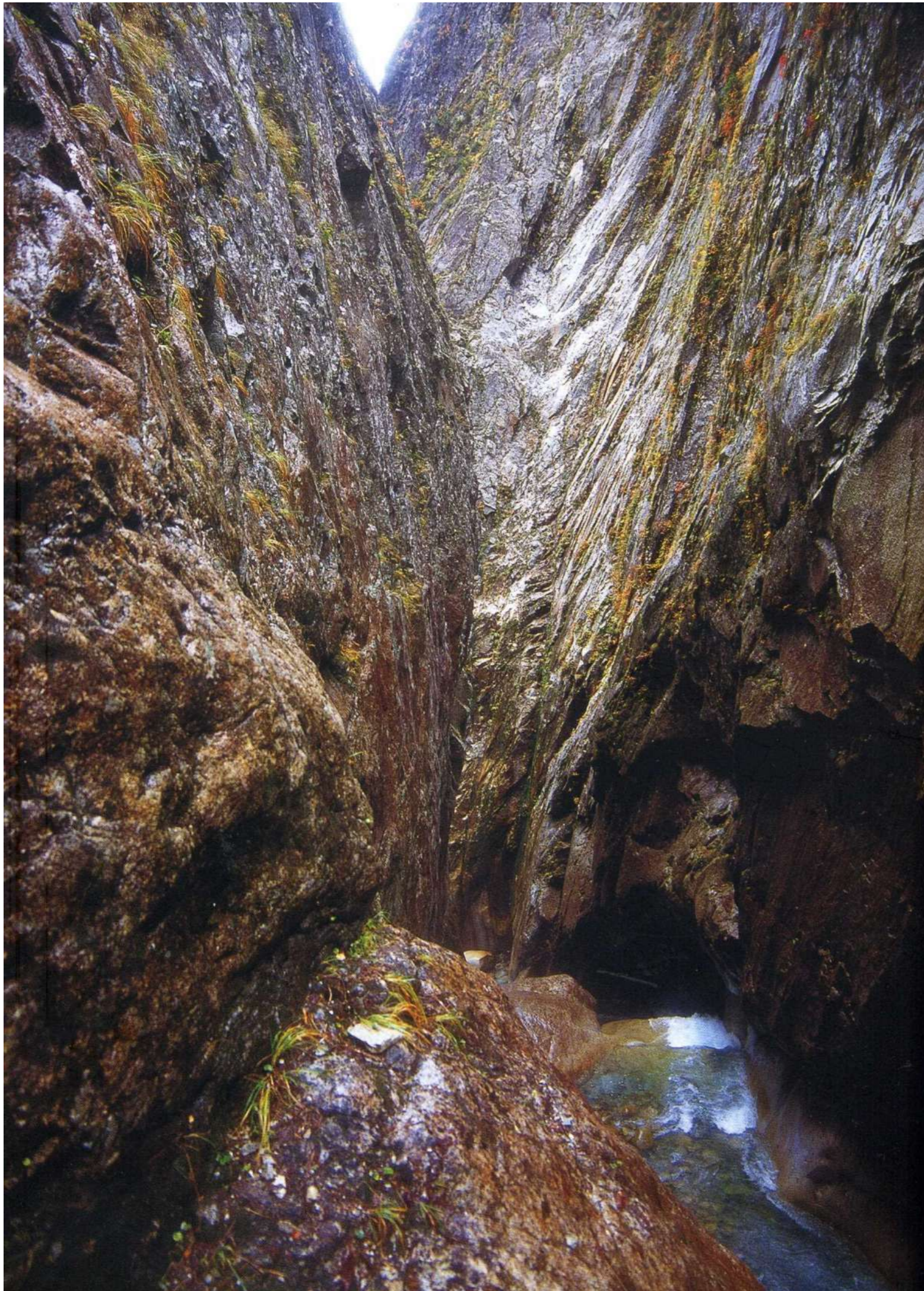
# 黒部 幻ノ滝

志水哲也



剣沢ゴルジュの岩壁トラバース中に見たD滝  
(下の滝はE滝。手前の草が密生しているところが「緑の台地」)  
ペンタックス645N II 33-55 f4.5 1/250秒 +1 RDP III





「緑の台地」から30m懸垂下降した岩棚から見たD滝の全貌  
ペンタックス645NII 33.55mm f/22 4秒 +1RDP III ND8使用 (2枚の組み合わせ写真)  
E滝とF滝の間、「水際バンド」から見た剣沢ゴルジュ下流  
ペンタックス645NII 33.55mm f/4.5 1/60秒 +1RDP III



# 最

近、僕は沢登りの途中でかいまる日本中の秘瀑を「幻ノ滝」とくり、テーマとして撮影を続けている。展望台のようなところから滝を俯瞰するのはそれでいい。しかし、沢登りの真つ只中であって、清冽な雪どけ水に身を浸して、激流を渡り、瀑水に打たれながら滝を攀じた目線で、滝が見せる刹那のきらめきをとらえてみたいと思うのだ。

そして、03年の秋は、念願の剣沢大滝最奥のD滝を、滝壺から撮ることに成功したのだ。

\* 日本最大の峡谷・黒部、その深奥部に黒部の象徴「剣沢大滝」がかかっている。大正から昭和の初めにかけて、近代登山のバイオニア時代のころから、音はずれども姿が見えないこの滝は「幻ノ滝」と言われてきた。ここを突破した者は十指にも満たない日本最難の滝である。

大滝の上にそびえる立山と剣岳。剣沢の流



「たき火テラス」までの登攀、2ピッチ目から見た最下段・I滝の落ち口  
ペンタックス645N II 150-300mm f5.6 1/125秒 +1 RDP III

域面積はもちろん大きい、わが国屈指の大雪渓を有することから、その豊富な水量は、側壁と側壁によって狭められ、集中して、剣沢大滝で一気にエネルギーを弛められ、爆発させている。

剣沢大滝は落差合計134m、大小10の滝で構成される。通常はいちばん上の4m滝を除いて、上流からA滝→I滝と呼ばれているが、20m以上の落差を有するのは最下段、I滝(落差48m)と、奥のD滝(落差30m)のふたつだけである。

僕が剣沢大滝を完全廻行したのは1987年、21歳の秋のことだった。薄暗い奈落の底のような峡谷に滝が連続するのを足下に望みながら、不意に襲ってくる落石を恐れて、一枚のハーケンに命を託すことの連続で、気が遠くなるほどジリジリと進んでいく。

ここでは、ちょっとしたミスが致命的になるだけでなく、一瞬の勘の狂いさえも許されない登攀で、のべ35日間を費やした。力の限り闘い、完登できたときは、もう何もいらな

いと思えるほど、僕はまさに完全燃焼した。

それからすでに十数年が経つ。その後もテレビロケなどで剣沢大滝を何度か訪れたが、30代になって再び、自分自身のために、剣沢大滝に新たな挑戦をしていた。この数年、入り口のI滝を春夏秋冬、撮影してきた僕は、できるものならもう一度、最奥のD滝を撮ってみたいと考えていた。

しかし、I滝へ行くのと、D滝に行くのでは登攀技術、費やす日数、リスクがまるで違うのだ。僕のなかで、期待とためらいが交錯した日々が過ぎていった。それをサポートし、ドキュメント番組を作りたいという話がNHKからきたのは、そんなときだった。

ロケは03年10月4日から21日まで、18日間を費やして実施された。13人のメンバーはデイレクター、音声、テレビカメラマンなど、大雪山山岳部OB中心の強靱な登山家ばかりであり、内容はたぶん国内最難のフィルムムエキ



最下段のI滝をのぞむ  
ペンタックス645N II 55-110mm f11 1/90秒 +1 RDP III

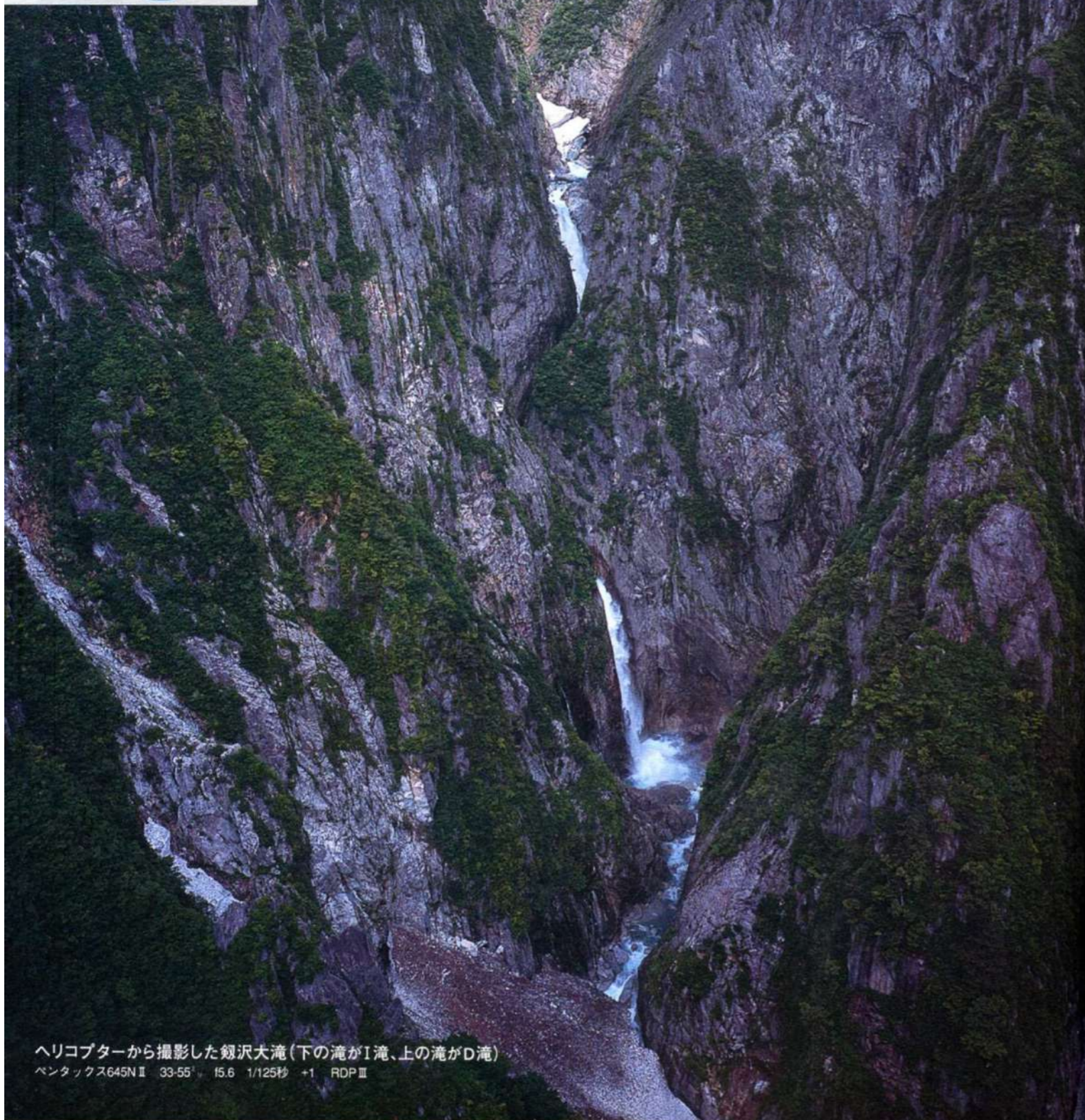
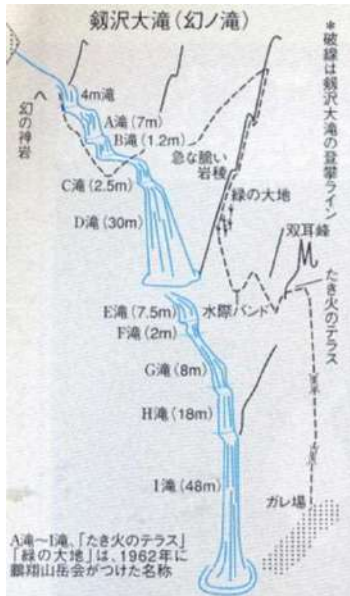


剣沢ゴルジュ30mの懸垂下降をする志水

スペディションとなったのではないか。「たき火テラス」から先、それは両岸500mの側壁によって驚異的に狭められた、国内最大のゴルジュ帯が形成されている。その側壁を、登ったり下ったり、トラバースしたりして、ようやくたどり着くのが「緑の台地」。そこから、さらに60mの空中懸垂下降で降り立ったD滝の滝壺。そこは人が初めて見る、人間が踏み込んではいけぬ聖域のような場所であり、ここから見上げたD滝の凄みこそ、まさに「幻ノ滝」の真髄であった。

しみず・てつや  
1965年樹立生まれ  
高校時代から山登りをはじめ、登山家として国内外での単独登攀、黒部全支流の踏査などを実践。  
96年より山岳ガイドとなり、志水哲也山案内事務所を開設。  
97年に黒部の玄関口・宇奈月町に転居。  
99年に本格的な写真へ傾倒。  
02年、志水哲也山案内事務所を閉業し、ガイドと写真の二足のワラジでの活動をはじめ。  
おもな著書に『黒部』(白山書房)、写真集『黒部』(山と溪谷社)ほか多数。  
04年6月には写真エッセイ集『黒部物語』をみすず書房より出版予定。

お知らせ  
●写真集「幻ノ滝」出版  
剣沢大滝の写真集「幻ノ滝」が04年1月に刊行されます。四六判/上刷/80頁/予価1680円  
桂書房 096-4344-4600  
●写真集「幻ノ滝」の開催  
NHKとみすず・てつやの「幻ノ滝」にて写真展「幻ノ滝」が開催されます。  
期間：2月1日(日)～14日(土) 9時30分～18時  
1日～5日までは作者在館の予定です。  
●テレビ放映のお知らせ  
NHK総合テレビで、今回の取材の様子が「幻ノ滝」を撮るテレビ放映されます。放映日：1月7日(金) 8時～8時55分の予定。



ヘリコプターから撮影した剣沢大滝(下の滝がI滝、上の滝がD滝)  
ペンタックス645N II 33-55mm f5.6 1/125秒 +1 RDP III